

群馬県の現状

高度経済成長期に建設した橋梁の老朽化が進行しているとともに、新たな道路整備等により、管理する道路施設数も増加しています。

今後も道路施設の健全性を確保するために、長寿命化を図っていく必要があります。

県民の声

【主要地方道 高崎駒形線】

- ・アスファルトがぼこぼこなので直してほしい。
- ・振動が激しいため修繕をお願いしたい。

※周辺住民からの聞き取りによる。

課題

道路施設の健全性を確保するために長寿命化計画を推進していく必要があります。

目的

老朽化が進んだ橋梁や舗装などの道路施設を補修することにより、道路施設の健全性と安全性を確保します。

事業の指標

指標1 橋梁長寿命化計画に基づく要修繕橋梁の対策

Σ（要修繕橋梁1489橋のうち、750橋の対策を完了させる。）
（単位：橋）

指標2 舗装長寿命化計画に基づく要修繕延長の短縮

Σ（要修繕箇所(H25ベース)の舗装修繕を実施し、H29時点で要修繕延長を半減させる）（単位：km）

成果と達成度報告

要修繕橋梁751橋の補修により、安全な道路環境が維持されました！

舗装の要対策箇所のうち173kmが補修できました！

指標1:橋梁長寿命化計画に基づく要修繕橋梁における対策済み橋梁数

	目標	実績	
当初値(H25当初)		327橋	
中間値(H27末)	580橋	580橋	当初より253橋増加
目標値(H29末)	750橋	751橋	計画どおり修繕完了

指標2:舗装長寿命化計画に基づく要修繕延長の短縮

	目標	実績	
当初値(H25当初)		280km	
中間値(H27末)	210km	144km	当初より136km減少
目標値(H29末)	140km	107km	当初より173km減少

整備効果事例

事例① 主要地方道 高崎駒形線 舗装修繕工事

位置図



箇所名：
前橋市公田町

整備効果

整備前



ひび割れやわだちがあり、振動が発生する



整備後



安心

舗装が修繕され、安全な通行が確保された

事例② 一般県道 綿貫篠塚線 武士橋

位置図



箇所名：
伊勢崎市境下武士

整備効果

道路 車道

コンクリートの橋桁

広瀬川

橋桁同士を掛け違いで組み合わせている。構造の重要な部分にひびわれなど損傷あり。致命的な損傷で落橋の危険がある。

橋桁のコンクリートが剥落し、中の鉄筋が露出

整備前

- ◆老朽化が進んでいるので、損傷を放置すれば落橋や通行止めの可能性もあります。

整備後

- ◆安全に通行できるようになりました。
- ◆橋を長持ちさせることができます。

掛け違い部分を鉄板で補強修繕

鉄筋の防食と橋桁の剥離部分の修復